

平成27年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業 生涯学習推進基本講座【道北会場】事業報告

I 事業の概要

研修テーマ 現代的な課題や地域課題等に対応した生涯学習・社会教育の推進について
～ 持続可能な地域づくりのために社会教育としてできること ～

- 1 趣 旨 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備を図るため、コミュニティ・スクール制度の導入による基本的・実務的な知識の習得と、各市町村の取組を踏まえた協議により、地域課題解決のための方策や地域の教育資源を一層有機的に活用した学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の推進について理解を深める。
- 2 主 催 北海道教育委員会
北海道立生涯学習推進センター
- 3 主 管 北海道教育庁宗谷教育局
北海道社会教育主事会協議会（宗谷管内社会教育主事会）
- 4 期 日 平成27年10月8日（木）
- 5 会 場 宗谷総合振興局 4階 大会議室（稚内市末広町4丁目2-27）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員など）、生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センターなど）職員、青少年教育施設職員、教職員、PTA、学校支援地域本部・放課後子ども総合プラン・家庭教育支援・土曜日の教育支援活動の各事業で活動している方（コーディネーター、教育活動推進員、家庭教育支援員、教育活動サポーター、放課後児童支援員等）、ボランティア活動を行っている方、コミュニティ・スクール等に関心のある方等
30名
- 7 参加状況 36名（社会教育関係者 12名、社会教育関係職員以外 24名）

8 日 程

9:45		10:00		12:00		13:00		14:00		15:00		15:15		16:00			
受付	開会	説 明 (コミュニティ・スクール制度の導入について)				昼 食 休 憩	協 議 (コミュニティ・スクール制度導入により、考えられる効果的な取組や運営上の課題について)				講 義 (本道の生涯学習・社会教育の推進に向けた取組の方向性)				情 報 提 供	個 別 相 談	解 散

※ 個別相談について（希望制）

推進センター職員が、市町村の生涯学習・社会教育の推進に関わる中・長期計画策定等の個別相談に応じた。



9 活動の概要

- (1) 説明「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールと地方創生」

【講師】コミュニティ・スクール推進委員
(CSマイスター) 出口 寿久 氏

【内容】コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の役割や運営、制度導入により期待される効果や今後の方向性について説明をいただいた。



説明のようす

- (2) 研究協議「コミュニティ・スクール制度導入により考えられる効果的な取組や運営上の課題について」

【ファシリテーター】北海道立生涯学習推進センター主査 久保 大 輔

【内容】「コミュニティ・スクール」の役割を確認し、学校がまちづくりの拠点としてどうあるべきかを考え、現状把握、課題の明確化、効果的な取組について整理をした。



研究協議のようす

- (3) 講義「本道の生涯学習・社会教育の推進に向けた取組の方向性と地方創生を実現するための教育の視点」

【ファシリテーター】北海道立生涯学習推進センター主査 會 田 大 祐

【内容】生涯学習及び社会教育、家庭教育を行う意義について、法令を交え確認するとともに、学校、家庭、地域の連携や青少年育成の在り方について、国の指針や答申等を用いて説明した。



講義のようす

- (4) 情報提供

【情報提供者】宗谷教育局教育支援課社会教育指導班主査 田 中 豊

【内容】道教委の推進する事業及び宗谷教育局（社会教育指導班）の取組について説明

- (5) 個別相談（希望制）

【対応】北海道立生涯学習推進センター主査 會 田 大 祐
久保 大 輔

【内容】

幌延町	社会教育中期計画の評価について
利尻町	教育推進計画（社会教育）の策定について
枝幸町	教育推進計画と社会教育計画の関連について
稚内市	社会教育計画の評価について



個別相談のようす



Ⅱ 事業の満足度

1 本講座参加者数 36名

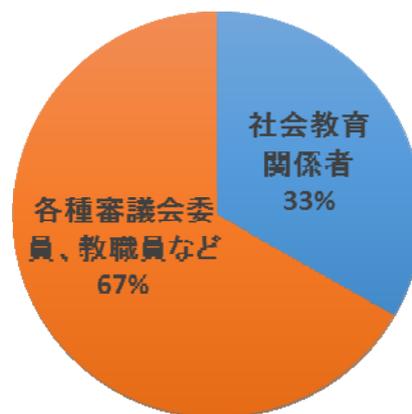
(内訳) 社会教育関係職員の参加者数 12名 (33.3%)

社会教育関係職員以外の参加者数 24名 (66.7%)

2 アンケート対象者数 36名 回答者数 19名 (回収率 52.8%)

参加者(所属)状況

※悪天候で急遽、帰られる参加者が半数近くいたため、参加者全員からの回収はできなかった。

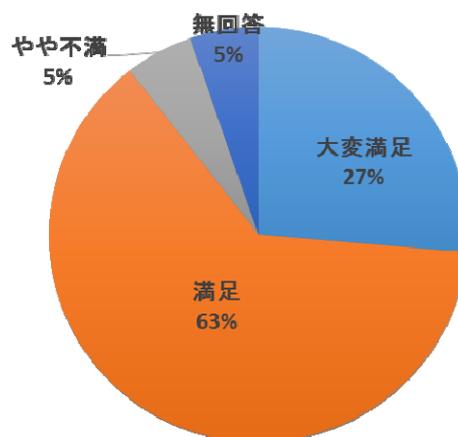


3 講座全体をとおして

総合満足度	大変満足・満足 90%
-------	----------------

【参加者の主な声】

- 演習が勉強になった。
- コミュニティ・スクールについて理解を深めることができた。
- コミュニティ・スクール導入についての流れ、地域の問題など、少しは自分の中で理解・整理できた。
- 研修の成果を役立てたい。
- 内容が難しかった。

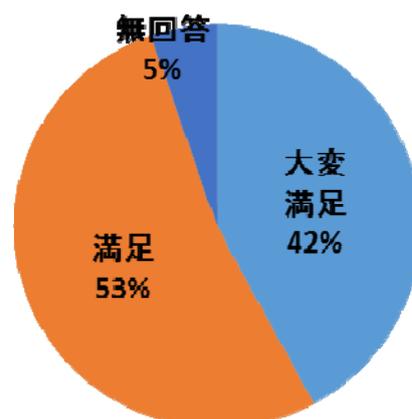


4 研修プログラムの内容について

(1) 説明「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールと地方創生」

【参加者の主な声】

- 知らないことも事例を使い教えていただき、わかりやすかった。
- コミュニティ・スクールの中身について知ることができた。
- コミュニティ・スクールについて理解を深めることができた。
- コミュニティ・スクール導入に向けて整理ができた。熟議を進めていきたい。



○難しいですが、話を聞いたことが良かった。

○コミュニティ・スクールを導入するためにはどうしたらいいかと考えたとき、難しいと思った。

○本町の現状と照らし合わせながら聞いていたことでイメージができた。

(2) 研究協議「コミュニティ・スクール制度導入により考えられる効果的な取組や運営上の課題について」

【参加者の主な声】

○自分だけでは気づかないことをグループの方に教えていただいた。

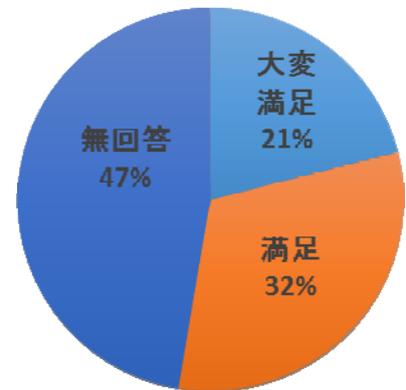
○様々な立場からの意見や同じような問題を抱えている方と意見を出し合う中で、新しい発見がありました。

○様々なまちの課題を知り、その解決に向けて、アドバイスをいただけたことが参考になった。

○今までにない手法を知ることができた。

○今現在取り組んでいること（団体・事業）を中心に輪を広げられたらいいと思った。

○課題解明の手法がためになった。



(3) 講義「本道の生涯学習・社会教育の推進に向けた取組の方向性と地方創生を実現するための教育の視点」

【参加者の主な声】

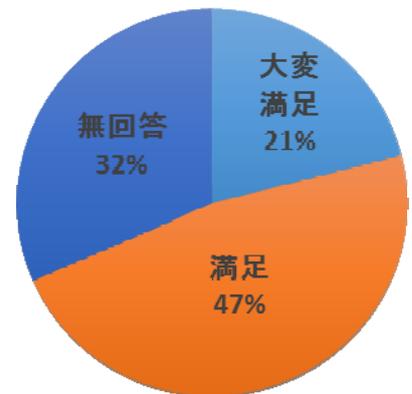
○北海道の方向性が確認できた。

○大きな方向性、重点について、押さえることができた。

○道の取組について、あらためて確認することができ、今後の活動の参考になった。

○地域のよさを知ってもらうよう大人が子どもに話せるようにしたいと思った。

○要点をかいつまんで話していただきわかりやすかった。

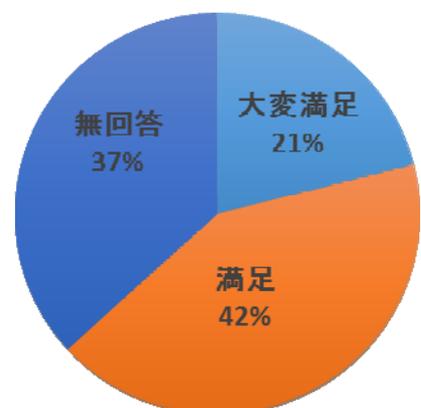


4 研修講座の運営について

【参加者の主な声】

○参加型の研修がよかった。方向性をリードしてくれ、成果があった。

○コミュニティ・スクールについて、深く知ることができた。



5 その他、本講座をとおして気づいた点

【参加者の主な声】

○道北会場に参加して、学ばせていただいたことを地域に広げようと思います。

○説明を繰り返しお聞きすることで、内容理解が深まりました。

